

天草市 有明地域まちづくり計画 【概要版】

地域の概要

面積	人口	世帯数
57.59km ²	4,977人	1,885世帯

有明地域は、天草諸島内の上島に位置し、北西部に有明海、南東部は天草第二の高峰老岳(586.2m)を中心とした山並が続ぎ、豊かな自然と温かい人情を町の宝としています。

また、地域には祖先から代々受け継がれた伝統文化があり現代に伝えられています。基幹産業は、豊かな自然と温暖な気候を生かした農業と有明海の豊穡の恵みを受ける漁業の第1次産業です。観光面では「リップルランド」が中心となっています。

【管内地区振興会】

- 楠甫地区振興会
- 須子地区振興会
- 上津浦地区振興会
- 島子地区振興会
- 大浦地区振興会
- 赤崎地区振興会
- 下津浦地区振興会



地域の現状及び課題

本地域においても、若年層の減少や更なる高齢化が予想され、地域で支え合うコミュニティ活動の重要性が高まっています。それに加えて基幹産業である第1次産業においても担い手の不足は深刻です。このような状況を背景として、まちづくりを進めるにあたり以下のような特色及び課題があります。

部門	特色	課題
観光 ・ 文化	○豊かな自然、温暖な気候を生かした農業 ○有明海の豊穡な恵みを受ける漁業、温かい人情	○町を訪れる観光客が減少傾向
地域振興	○住民自らが取り組む地域づくり活動	○人口減少、少子高齢化、マンネリ化による地区振興会活動の停滞
生活環境 ・ 防犯防災	○豊かで美しい海や山	○美しい海や山の維持、自然災害への備え

めざす地域の姿

人がつながる交流のまちづくり

地域住民一人ひとりが主役となり、できることから始め、「自助」「共助」を基本に地域資源を生かした地域づくりに取り組みます。そのようなまちづくりの基本理念を「人がつながる交流のまちづくり」とし、生きいきとした個性あるまち有明づくりを推進します。

具体的な行動計画

1 地域資源を生かした交流のまちづくり 【観光・文化部門】

- 有明フットパス事業を推進し、交流人口の増加を図る。
- 有明民泊の会と協働し、民泊受入家庭を増加させ、修学旅行や個人旅行者の受入を行い交流人口の増加を図る。

2 人がつながる協働のまちづくり 【地域振興部門】

- スポーツ推進委員会有明支部と協働で、スポーツ大会を開催し、地域住民の交流を図る。
- 有明地区公民館と協働で、まちづくり講演会を開催し、地域づくりのヒントを得る。
- ふるさと会交流事業として、関西天草有明会・関東有明会との交流を図り、出身者と地域住民の交流を促進する。

3 「自助」「共助」を生かしたまちづくり 【生活環境・防犯防災部門】

- 行政と各地区振興会が協働で町全体において防災訓練を実施し、地域住民の防災に対する意識の高揚を図る。
- 行政と各地区振興会が協働で町全体においてクリーン作戦を実施し、地域住民の美化に対する意識の高揚を図る。